第 12 講 【近世編】主権国家の形成
PART2 主権国家体制の形成 2

Chapter 1　オランダの独立とその繁栄

目標
オランダの独立が，どのように成功したのかを考えよう。
オランダが繁栄した背景を知ろう。

1　オランダの独立戦争

スペイン王**フェリペ 2 世**のカトリック化政策と重税に**ネーデルラント**の住民が反発，独立戦争がおこった。

1556 年　ハプスブルク家の分立によって，ネーデルラントがスペイン領となる
1568 年　〔　　　　　　　　　　　〕を指導者とし，**オランダ独立戦争**がおこる
1579 年　プロテスタント（カルヴァン派，オランダでは**ゴイセン**と呼ばれる）が多い**北部 7 州**（現オランダ）が〔　　　　　　　　　　　〕を結成
※カトリック教徒の多い南部 10 州（現**ベルギー**）は離脱，スペインの支配下にとどまる。
1581 年　北部 7 州が独立を宣言。〔　　　　　　　　　　　〕を樹立
1585 年　商業都市〔　　　　　　　　　　　〕がスペイン軍に占領される
1609 年　スペインと休戦協定を締結。事実上独立を達成
※オランダの独立は，1648 年のウェストファリア条約で国際的に承認される。

2　オランダの最盛期

オランダは 17 世紀には世界貿易の覇権を握り，首都〔　　　　　　　　　　　〕がヨーロッパ最大の国際商業都市として繁栄した。

①オランダの産業
当時最先端の造船技術を持ち，バルト海交易や漁業で栄える。豊富な資源を背景に金融業が発展した

②オランダの外政

1602年　貿易特許会社〔　　　　　　　　　　　　　　　〕を設立し，アジアへ進出

1619年　ジャワ島西部の〔　　　　　　　　　　　　　〕（現ジャカルタ）に商館を設置。アジア進出の拠点とする

1621年　**西インド会社**を設立し，南北アメリカへも進出

1623年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕でイギリスを東南アジアから排除。香辛料の主産地**モルッカ**（マルク）諸島を支配

1624年　**台湾**を占領，日中交易の中継基地とする

※日本の徳川幕府からヨーロッパで唯一貿易を許され，日本貿易を独占。

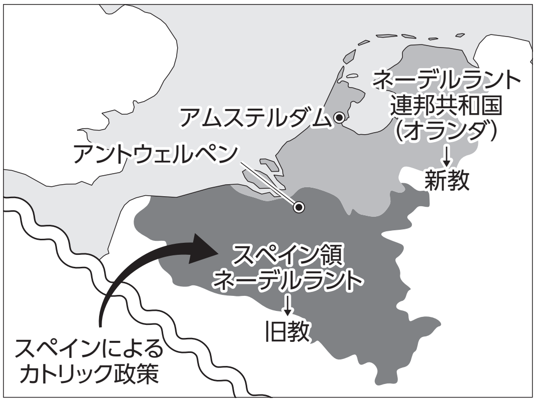
17世紀前半　北アメリカに**ニューネーデルラント植民地**を建設

1626年　ニューネーデルラントに**ニューアムステルダム**を建設

1641年　ポルトガルからマレー半島の**マラッカ**を奪う

1652年　南アフリカに**ケープ植民地**を建設

1658年　インド南東の**スリランカ**を占領



ネーデルラントの南北の状況

③オランダの都市化

都市化が進み，**ブルジョワ**（市民）が文化の保護者となる

※ルーベンス，レンブラントらの画家が市民の依頼で絵画を制作。

3　オランダの衰退

1651年　イギリスで**航海法**が成立

1652年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

→敗北し，海上覇権を失う

1664年　イギリスに**ニューアムステルダム**を割譲

まとめ

オランダ独立戦争で，北部７州がユトレヒト同盟を結成してスペインに抵抗し，独立を勝ち取った。

オランダは香辛料交易を独占し，中継貿易で利益を得て，市民文化が繁栄した。

Chapter 2　イギリスのテューダー朝の発展

目標
テューダー朝の時代に，第一次囲い込みが行われた理由を考えよう。
エリザベス1世がどのようにしてスペインを打倒したのかを学ぼう。

1　テューダー朝の時代

テューダー朝の時代には，商工業が発達した。

①新興地主層の**ジェントリ**が社会的地位を高め，地方行政権を握る

※以後，貴族とともにジェントルマンと呼ばれ，社会の指導的立場に立つ。

②毛織物市場が拡大し，毛織物工業が主要産業となる

※〔　　　　　〕家内工業・〔　　　　　　　　　　　〕（**工場制手工業**）によって毛織物の生産が増大。

A　問屋制家内工業：商業資本家が職人や農民に原料・道具を貸しつけ，製品を買い取る経営形態

B　マニュファクチュア：産業資本家が工場に労働者を集め，分業によって毛織物などを生産する生産様式

③羊毛の需要が高まり，〔　　　　　　　　　　〕（**エンクロージャー**）が進行

※**ジェントリ**が，農民から耕地や共有地を強制的に取り上げて生け垣で囲み，毛織物の原料となる羊の牧草地に転換。

→土地を失った農民が都市に流れ込んで浮浪人となり，社会不安が高まる

※この状況を〔　　　　　　　　　　〕が，著書『ユートピア』で「羊が人間を食い殺す」と批判。

『ユートピア』

2　エリザベス 1 世の治世

①内政

1559 年 〔　　　　　　〕を制定し，イギリス国教会を確立

1601 年　貧民を救済する**救貧法**を制定

※貧民を教区の責任のもとに救済する法律で，社会保障制度のはじまり。

主要産業である毛織物業を保護

②外政

1577 年　ドレークが世界周航に出発

※エリザベス 1 世は，ドレークに私拿捕船（私掠船）でスペインの植民地や銀の輸送船を襲撃させ，アルマダの海戦の一因をつくる。

1580 年　**ドレーク**がイギリス人として初めて世界周航を達成

1588 年 〔　　　　　　　　　　〕で，スペインの**無敵艦隊**を撃破

16 世紀後半　ローリーが北アメリカに入植を試みるが失敗

※のちに植民地が開かれ，処女王エリザベス 1 世にちなんでヴァージニアと名づけられる。

1600 年　貿易特許会社〔　　　　　　　　　〕を設立し，アジアへ進出

エリザベス 1 世

まとめ

テューダー朝では毛織物産業が振興され，牧羊地確保のため農地の囲い込みが行われた。
海賊のドレークなどに私拿捕船を組織させスペインの銀輸送船を襲い，アルマダの海戦では無敵艦隊を破った。

第 12 講　PART 2　確認問題

1 1568 年，ネーデルラントの住民がスペインからの独立を求めておこした戦争の指導者はだれか。

① トマス = ミュンツァー　② オラニエ公ウィレム
③ ザクセン選帝侯フリードリヒ　④ マルティン = ルター

2 17 世紀にヨーロッパ最大の国際商業都市として繁栄した都市はどこか。

① アムステルダム　② リスボン
③ アントウェルペン　④ ロンドン

3 オランダが 1623 年のアンボイナ事件で，東南アジアから排除した国はどこか。

① スペイン　② フランス
③ ポルトガル　④ イギリス

4 17 世紀前半にオランダが北アメリカに建設した植民地はどこか。

① ケベック植民地　② ヴァージニア植民地
③ ニューネーデルラント植民地　④ ルイジアナ植民地

5 1652 年に勃発したイギリス = オランダ戦争の原因となった，イギリスの法はどれか。

① 航海法　② 統一法
③ 首長法　④ 均輸法

6 ヘンリ７世からエリザベス１世まで５人の王が即位したイギリスの王朝はどれか。

① プランタジネット朝　② テューダー朝
③ ヨーク朝　④ カロリング朝

7 第一次囲い込みを「羊が人間を食い殺す」と批判した人物はだれか。

① エラスムス　② シェークスピア
③ トマス＝モア　④ モンテーニュ

8 1588 年にスペインの無敵艦隊を撃破したイギリスの王はだれか。

① メアリ１世　② ヘンリ８世
③ ヘンリ７世　④ エリザベス１世

第12講　PART 2　確認問題　解答

1 解答：②　**オラニエ公ウィレム**はオランダ独立戦争を指導し，1581 年に独立を宣言すると，ネーデルラント連邦共和国の初代総督になった。

2 解答：①　17 世紀には，**アムステルダム**がアントウェルペンに代わって商業都市として栄えた。

3 解答：④　**アンボイナ事件**は，モルッカ諸島のアンボイナでオランダがイギリス商館員を虐殺した事件で，これを機にイギリスはインドネシアから撤退し，インドに拠点を移した。

4 解答：③　オランダは，北アメリカのハドソン川河口に**ニューネーデルラント植民地**を建設した。

5 解答：①　イギリスは 1651 年，オランダの中継貿易に打撃を与えるために**航海法**を制定した。

6 解答：②　**テューダー朝**は，1485 年にバラ戦争をおさめたヘンリ 7 世が開いた，イギリスの絶対王政期の王朝。独身を通したエリザベス 1 世の死で断絶した。

7 解答：③　**トマス = モア**は，イギリスの政治家で人文主義者。著書『ユートピア』の中で，第一次囲い込みを批判した。

8 解答：④　**エリザベス 1 世**はアルマダの海戦でスペインの無敵艦隊を撃破し，海外進出を進めた。